

港区のサポート

9月～11月

各小学校の学校公開を参観しましょう。

10月中旬

【就学時健康診断票】と【学校選択希望票】が届きます。

10月下旬～11月中

就学時健康診断を受診します。

11月上旬

学校選択希望票を提出します。
★期限に遅れないように!

12月中旬

就学支援シートが配付されます。

1月中旬

就学先の学校が決定すると、就学通知書が届きます。

2月中

就学先の学校の説明会に参加します。

4月

小学校入学



◆就学に向けて不安や心配なことがある場合

☆教育センター 電話相談
☎ 5422-1546

☆教育センター 特別支援教育担当
☎ 5422-1543

◆お子さんと家庭の相談

☆子ども家庭支援センター
☎ 5962-7215

◆お子さんの心身の発達が気になる場合

☆港区立児童発達支援センター
☎ 6277-3106

園から高等学校卒業までの教育全体を通して育む力

学校教育全体

学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性など

実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力など

※三つの力をバランスよく育みます。

園ではその基礎を育成

- 知識及び技能の基礎
豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。
- 思考力、判断力、表現力などの基礎
気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- 学びに向かう力、人間性など
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

園での生活を通して

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体…自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
- 自立心…自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信をもって行動するようになる。
- 協同性…友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる。
- 道徳性・規範意識の芽生え…
よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。きまりを守ったりするようになる。
- 社会生活との関わり…
家族を大切にしたり、身近な人と触れ合って地域に親しみを持つようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり、公共施設を利用して、社会とのつながりを意識するようになる。
- 思考力の芽生え…
身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむようになる。
- 自然との関わり・生命尊重…
自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にできるようになる。
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚…
遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつようになる。
- 言葉による伝え合い…
経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむようになる。
- 豊かな感性と表現…
心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※これらは到達目標ではなく、一人一人の発達に応じて育っていきます。
また、それぞれの姿の一部のみを記載していますので、詳しくは以下をご覧ください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/index.htm



参照：一人一人のよさを未来へつなぐ
—学校教育のはじまりとしての幼稚園教育—
文部科学省初等中等教育局幼児教育課 2019年12月

小学校に入学すると安全に気を付け、一人で通学したり遊びに行ったりするようになります。

港区では、子どもが不審者に遭遇した時等に、右上のステッカーが貼ってある事業所や商店等に駆け込むと、子ども110番協力者が子どもを保護し、警察署に通報する仕組みがあります。

また、区は地域に密着した事業者と協定を締結し、右のステッカーを貼った事業者に、日常業務をしながら、無理のない範囲で子どもたちの見守りをしてもらうようにしています。これらのステッカーの意味や貼ってある場所を、入学前までにお子さんに知らせておきましょう。

子ども110番



ながら見守り連携事業



保護者の皆様へ

港区ではお子さんが安心して小学校に入学し、充実した学校生活となるよう、家庭で取り組んでいただきたい内容をリーフレットにまとめました。

家庭での関わりは、お子さんの生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要なものです。園と家庭が連携して、幼児期から児童期の育ちと学びをつなぐ、以下の三つの力をバランスよく伸ばしていくことが大切です。

三つの力

生活する力

「健康な身体づくり」と「自分のことが自分でできること」は、自信をもって生活する力につながります。

発見・考え・表現する力

学習の基礎となる興味・関心や意欲・態度につながります。

かかわる力

生涯にわたって心の基礎となる、愛情と安心・信頼感を育み、自分のまわりの人と関わりながら思いを伝え合い、豊かな人間関係をつくっていく力となります。

*三つの力は、遊びや生活の中で総合的に育っていきます。

園と家庭が協力しながら、遊びや生活の中で三つの力を伸ばしていくと、左上部に記載している、園から高等学校卒業までの教育全体を通して育む力(知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力などの基礎、学びに向かう力・人間性など)が育っていきます。

また、5歳児後半から小学校への接続期には、左に記載している「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が見られるようになります。

一人ひとりのお子さんには成長や発達の違いがあるため、一律に見られるものではありませんが、育ちの目安となるものです。

お子さんと関わる時や、面談等で保育士や教員と、お子さんの姿について話す時の参考にしてください。



刊行物発行番号 2023232-7370

港区・港区教育委員会

令和2年4月発行
令和6年3月改訂

小学校生活に向けて、お子さんとご家庭で大切にしていきたいこと、取り組んでいきたいこと（定期的にチェックしてみましょう）

生活する力

- ◎自分のことは自分でする
- ◎健康で安全な生活をする
- ◎体を十分に動かし、進んで運動しようとする

規則正しい生活リズムを習慣付けましょう

◎「早寝、早起き、朝ごはん」は健康な心身をつくる基礎となります。
 (例：夜9時に寝て朝7時に起きて朝食をとる)
 ☆毎日同じ生活リズムにしましょう。



戸外でたくさん遊びましょう

◎戸外で友達と遊ぶことは、健康な身体をつくり、安全な生活の知識も身に付けます。
 ☆危険個所について親子で確認し、交通ルールや安全に気を付けて遊べるようにしましょう。
 ☆学校までの通学路を親子で歩いてみましょう。
 ☆子ども110番の意味を知らせましょう。



戸外で縄跳びをして遊ぶ

自分のことは自分でしましょう

◎自分のことが一人でできることは、自立心を育てます。
 ☆日頃から一人で着替えたり、脱いだものをきちんとたたんだりしましょう。
 ☆自分のかばんや荷物を自分で持ち、自分で整理をしましょう。
 ☆箸や鉛筆を正しく持って使いましょう。



物を大切にしましょう

◎自分の持ち物や公共の物を大切にすることを育てましょう。
 ☆持ち物に、親子で一緒に名前を付けましょう。
 ☆物を大切に扱い、最後まで使う、物をなくした時には探す、などの姿を親が見せましょう。



発見・考え・表現する力

- ◎好奇心や探究心をもって、ものとかかわる
- ◎感じたこと・考えたことを言葉で伝える
- ◎文字や数量などの感覚を豊かにする

いろいろな遊びや体験をたくさんしましょう

◎身体を動かして遊ぶ、つくる、かく、歌う、踊る、自然物に関わる、手伝いをするなど、いろいろな遊びや体験が、学びの基礎につながります。
 ☆子ども自身が興味・関心をもったものに、親子でじっくりと取り組む時間をもちましょう。



夢をもちましょう

◎やってみたいことやなりたい人など、あこがれや夢をもつことは、いろいろなものに対する意欲につながります。
 ☆親の子どもの頃の夢を話したり、子どもの夢を聞いたりしましょう。
 ☆子どもの良いところを10個以上、言ってみましょう。



生活の中で、文字や数、量や図形などに親しみましょう

◎大人が絵本や物語を読んであげることで、想像力や言葉が増え、理解する力が付きます。
 ☆人前で自分の氏名、年齢などをはっきり言えるようにしましょう。
 ☆本をたくさん読んであげましょう。
 ☆買い物などの実体験をさせましょう。
 ☆時間を意識して生活させましょう。



自分たちで作ったすごろくで遊ぶ

かかわる力

- ◎あいさつをする
- ◎人とかかわる
- ◎きまりや約束を守る

家族と一緒に過ごす時間を大切にしましょう

◎家族での心身の触れ合いの中で、愛情や安心感、信頼感が育めます。
 ☆思ったことや考えたことを、家族間でたくさん話し合ったりじっくりと聞いたりしましょう。
 ☆家庭で手伝いなど役割をもたせるようにしましょう。



地域の行事や異文化に触れる機会をもちましょう

◎地域のお祭りや行事、異文化交流などで様々な人と触れ合うことは、子どもの社会を広げます。
 ☆地域の人と関わる機会をもたせましょう。
 ☆地域の行事に親子で参加したり、外国の文化に触れたりしましょう。



返事やあいさつをしましょう

◎人と気持ちよく過ごすためには返事やあいさつが大切です。大人が手本となりましょう。
 ☆「はい」と元気に返事をするようにしましょう。
 ☆「おはよう」「いただきます」などのあいさつや感謝の言葉を自然に言うようにしましょう。
 ☆困った時に自分から周りの人に聞くことができるようにしましょう。



友達の前で自分の意見や考えを話す

きまりや約束を守りましょう

◎社会や家庭、園のきまりを守って生活することは社会生活の基盤です。
 ☆大人が手本や善悪の判断基準を示し、繰り返し知らせましょう。
 ◎テレビやゲーム等の電子機器は子どもにとっては強い刺激となります。
 ☆時間を決め、家族の大事なきまりとしてしっかりと守らせましょう。
 ☆良いことをした時には誉め、叱る時には子どもに分かるように話し、温かく見守りましょう。



小学校でのこんな姿につながりますよ!

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性、規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

・学校生活の流れを理解し、見通しをもって生活する。

・教科書やノート、体育着など、自分で学校の準備をし、持つて行く。

・休み時間に元気に友達と、校庭等で遊ぶ。

・学級の友達と一緒に学ぶことを喜び、意欲的に学習に取り組む。

・学習や遊びに集中して取り組み、よりよい学習態度が身に付く。(聞く・話すなど)

・学んだことを、実生活に生かそうとする。

・学校の人たちや友達、地域の人に親しみの気持ちをもって、あいさつをする。

・友達と関わり合い、協力しながら学習をする。

・学校生活や学習のきまりを守り、自分で考えて行動する。